

道路路肩用 / 雑草防止板

D105-1.01

平成 29 年 01 月

高速道路を含め郊外部の道路は、多くは盛土上に作られるので路肩部分には法面がある。ここには雑草が生育してしまい、多くの問題が生じている。

- ・視認性：雑草の背が高くなると視認性が悪くなる。
- ・防災性：ゴミや煙草の投げ捨てがされやすく、火災発生につながる。
- ・経済性：除草作業が必要で、莫大な費用が掛かる。

対策として防草シートなどを使用しているが、軽いために風であおられやすく、耐久性が低い。

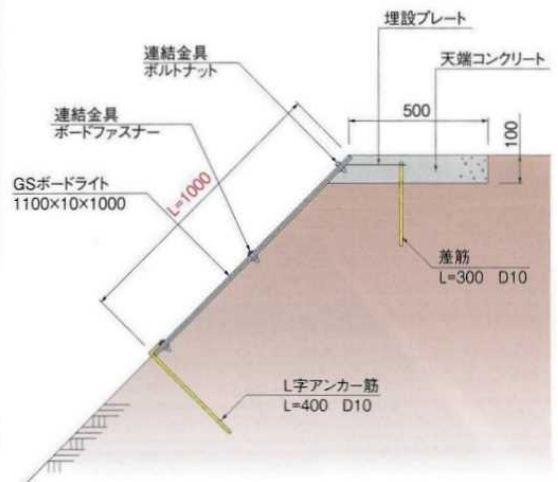
ここにGRC製の平板を敷設していくと、除草費用が大幅に削減される、雨水の浸透が無く路肩の補強になる、火災発生が無くなる、視認性が良い、道路の美観が良くなる等のメリットがある。GRC製なので薄くなるので軽く施工は人力で行うことが出来、施工方法も容易で現場状況に合わせた加工も容易なので、コストも低くなります。さらに、将来撤去することになっても容易に撤去作業ができる。



大平板タイプ

右図のように法面上部に、標準巾 1,000 mm の GRC 平板を下端で位置決めして仮置きしていき、上端で控えを固定して取付けていく。最後に上端のコンクリートを打設して完成させる。

■標準施工図

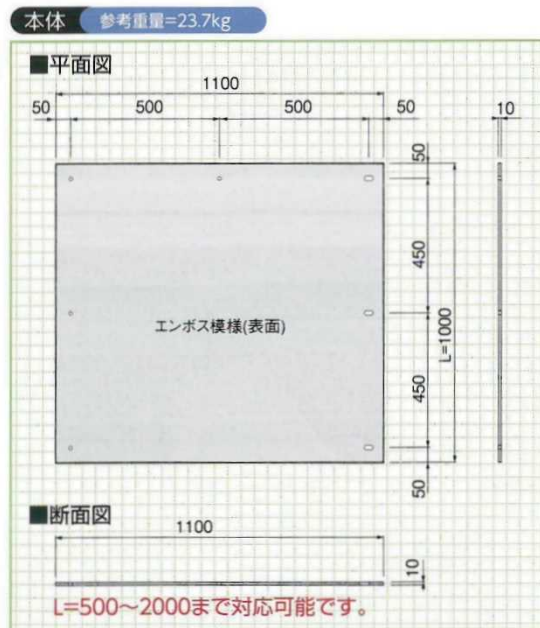


1 重ね合せ部に支承ゴムを貼り、左右の製品を10cm重ねて設置し(写真2参照)、下部はL字アンカー筋で、左右はボードファスナーで、天端は埋設プレートでそれぞれ固定します。



3 埋設プレートはボルトナットで製品本体に取付け、差筋で固定します。製品とコンクリートの間に隙間ができないように、棒パイプ等で入念に充填しながら路肩部に天端コンクリートを打設します。

製品形状



施工例



販売元：インフラテック株式会社

* 各社/各商品の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います。